



8月 いちごぐみだより



2020年8月 尚徳福祉会 末長こぐま保育園

長い梅雨が明け、夏本番、というように日射しが強くなりました。先日は夏まつりのご参加とご協力、ありがとうございました。

7月は雨雲がなかなか引かず園庭遊びや水遊びの機会は少なかったのですが、その分屋内でゆったりと過ごすことができました。久しぶりに登園してきた子ども、保育者の膝の上で絵本を楽しんだり積み木を崩してニコッと笑ったりする姿が見られるようになりました。

子どもたちの最近のお気に入りの絵本は「かえるのがっしょう」や「くっついた」です。絵本を開き、保育者が歌い始めると離れた場所にいた子ども近くに来て、一緒に見て楽しんでいます。「くっついた！」と手と手を合わせると「おっ」と声を上げて指差しをして喜び子ども♪絵本を通して保育者との信頼関係も育まれていると感じ、嬉しく思います。



おねがい

◎保育室のホワイトボードに日々の連絡事項を掲示しています。毎日送迎時に確認してください。



ぱくぱく、もぐもぐ♪おいしい～!

いちご組の子どもたちは皆食べるのが大好きです。初めは食べさせてもらえるのを待っていた子ども、次第に自分でお皿に手を伸ばすようになってきました。触ってみて、食材の硬さや温度を確かめながら口元へ運んでいます。お味噌汁に手を入れてこぼしてしまうこともありますが、それも興味を持っている証拠。

「硬いかな?」「ご飯はペタペタするね」「お口が

よく動いているね」等と話しながら楽しい雰囲気で作られるようにしています。



大切な五感の刺激 No.2

《聴覚》

赤ちゃんの耳はとても敏感です。離乳食を薄味から始めるのと同じで、小さいうちは優しくゆるやかなメロディーや自然の音を聞かせてあげるのが良いでしょう。様々な音を聞き、「心地良い」「不快」「なんだろう?」と考えて脳が育っていきます。また、大人が「お湯をかけるよ」とこれからすることを伝え「温かいね」「気持ち良いね」と言葉にしていくことで、感覚と言語が一致するようになるのです。

《視覚》

明るくはっきりとした色や動くものを見ることで視覚は発達していきます。風に揺れるカーテンや流れる水の動きは子どもにとってとても面白いものです。形のないものを一緒に眺めて、その不思議さを共有できる機会を沢山作っていききたいと思います。

